

生死の苦悩と向き合い

臨床宗教師の活動とその現場より



米沢市立病院での
実践報告

米沢市立病院 緩和ケアチーム 臨床宗教師

妻鳥 紘明 氏

めん どり こう めい
米沢市 松原寺副住職

日時 令和4年

11月26日(土)

開場/13:00 開会/13:30~15:50

会場 三川町 いろり火の里 なの花ホール



臨床宗教師の
概要について

日本臨床宗教師会 認定臨床宗教師

高橋 悦堂 氏

たか はし えつ どう
宮城県栗原市 普門寺副住職

りんしょうしゅうきょうし
臨床宗教師とは

死期が迫った患者や遺族に対して、宗教や宗派にかかわらず、また布教伝道をするということもなく、公共性のある立場からの専門的な心のケアを行う宗教者。死への不安、生きる意味の喪失感や罪責感、愛する人を失った悲嘆など、それぞれの心の苦しみや痛みを理解し、和らげるための支援を行うことを目指し、その人材育成の動きが始まっている。

入場無料

※要申込 詳細は裏面を御覧ください



日本臨床宗教師会
認定臨床宗教師
高橋悦堂氏
たかはし えつ どう
宮城県栗原市
普門寺副住職

宮城県栗原市生まれ。東日本大震災被災地にて宗教者による傾聴活動などに参加。そのおりに在宅緩和ケア医、岡部健(たけし)氏と出会う。がんを患う自身の最期を看取るように告げられ、岡部氏のご家族とともにその最期の日々

に寄りそう。岡部医師の想いを継いで始まった臨床宗教師養成研修に参加。臨床宗教師として岡部医院を中心に在宅緩和ケアの分野で活動する。現在、栗原市の寺で副住職を務めながら、東北大学の臨床宗教師養成講座の指導者として、臨床宗教師の育成に関わる。



米沢市立病院
緩和ケアチーム
臨床宗教師
妻鳥紘明氏
めんどり こう めい
米沢市
松原寺副住職

北海道旭川市生まれ
一般家庭で育つ。
10年の社会経験の後、結婚を機に退職。妻の実父が務める米沢の曹洞宗寺院の後継者として出家する。鶴岡市大山の善寶寺での僧侶修行を経て、現在は副住職。
2017年東北大学実践宗教学講座を修了し、日本臨床宗教師認定臨床宗教師となる。
2019年から米沢市立病院にて、傾聴を通して患者との対話を続けている。

庄内プロジェクトとは

厚生労働省の戦略研究である「緩和ケア普及のための地域プロジェクト」鶴岡・三川地域では「庄内プロジェクト」と呼び、平成23年3月まで研究を行いました。現在は南庄内緩和ケア推進協議会が中心となり新しい体制の庄内プロジェクトとして緩和ケア普及のための活動を行っています。

入場無料 **要申込**



庄内交通バス時間

鶴岡駅前 (①番のりば) 16分 420円
イオンモール三川行
9:52発 → いろり火の里 10:08着
10:44発 → いろり火の里 11:00着

いろり火の里 11分 420円
鶴岡行
17:28発 → 鶴岡駅前17:39着

どなたでもお気軽に、電話・FAX・E-mailでお申し込みください

●申込み/
**緩和ケアサポートセンター
鶴岡・三川**

(鶴岡市立荘内病院 地域医療連携室内)

☎ **0235 (26) 5180**

(電話受付時間 9:00~17:00)

✉ kanwa.project@shonai-hos.jp

FAX 0235 (26) 5156

申込み締切

11月18日金

生死の苦悩とともに **参加申込書** (FAX用)

お名前		TEL	-	-
住所	鶴岡市・三川町・その他()			
お名前		TEL	-	-
住所	鶴岡市・三川町・その他()			
お名前		TEL	-	-
住所	鶴岡市・三川町・その他()			